



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社アスモ 上場取引所 東
 コード番号 2654 URL http://www.asmo1.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 岡田 夏至 (TEL) 03-6911-0550
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,232	△5.4	661	△31.4	709	△27.5	446	△24.3
2020年3月期第3四半期	15,049	1.9	965	19.0	979	19.2	589	19.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 391百万円(△31.2%) 2020年3月期第3四半期 569百万円(13.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	31.81	—
2020年3月期第3四半期	42.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,291	6,389	68.2
2020年3月期	8,877	6,137	68.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 6,338百万円 2020年3月期 6,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,660	△6.0	800	△32.4	830	△30.6	450	△33.2	32.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	15,145,175株	2020年3月期	15,145,175株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,124,513株	2020年3月期	1,124,512株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	14,020,662株	2020年3月期3Q	14,020,731株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び実績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界情勢としては、新型コロナウイルス感染症によるロックダウンが段階的に解除され、一時的に回復の兆しを見せた経済活動ですが、日米欧では秋以降の感染者数急増を背景に再び急減速に転じました。ワクチンの承認・接種開始が悪循環を断ち切るきっかけとも期待されていますが、景気回復の先行き不透明感は依然として強い状況にあります。

わが国の経済においても、コロナ禍における緊急経済対策が迅速に実行されたことを背景として、12月の日銀短観による大企業の業況判断では9月の調査時より改善したものの、対策の一環であったキャンペーンの「Go To Eat」が11月に中断、12月には「Go To トラベル」が停止するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大が再び景気の回復にブレーキをかける状況となっています。

当社グループの状況につきまして、アスモトレーディング事業およびASMO CATERING (HK) 事業では新型コロナウイルス感染症の市場への影響を直接的に受けて当第2四半期連結累計期間の売上高が前年同期に比して大幅に減少していましたが、当第3四半期会計期間中は緊急経済対策や社会活動緩和の動きを受けてやや復調が見られました。また、新型コロナウイルス感染症の市場への影響を直接的には受けていないアスモフードサービス事業およびアスモ介護サービス事業の売上高は堅調を維持しておりますが、アスモフードサービス事業では食材費および人件費、アスモ介護サービス事業では人件費が増加するなど、経費の増加が営業利益を押し下げる要因となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高14,232百万円（前年同四半期比5.4%減）、営業利益661百万円（前年同四半期比31.4%減）、経常利益709百万円（前年同四半期比27.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、446百万円（前年同四半期比24.3%減）となり、売上高営業利益率は前年同四半期より1.8ポイント減少して4.7%となりました。

今後におきましては、終息に向かうであろうコロナ禍を見据え、各事業部門が引き続き強い使命感を持って事業に従事していくことで、売上高の増加、売上高営業利益率の改善に加え、グループの事業を成長させる事に邁進してまいります。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容	
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ会社の統制・管理、不動産賃貸	
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉の輸出入、食肉及び食肉加工品の販売	
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス) (株式会社アスモフードサービス首都圏) (株式会社アスモフードサービス東日本) (株式会社アスモフードサービス中日本) (株式会社アスモフードサービス西日本)	高齢者介護施設等における給食の提供	
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス) (株式会社アスモライフサービス)	訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営	
ASMO CATERING (HK) 事業 (ASMO CATERING (HK) CO., LIMITED)	香港における外食店舗の運営	
その他	(サーバントラスト信託株式会社)	管理型信託商品の販売
	(アスモ少額短期保険株式会社)	少額短期保険商品の販売
	(ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED)	台湾における外食店舗の運営（現在事業を休止中）

① アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、7月から実施されていた観光キャンペーン「Go To トラベル」において10月から地域共通クーポンの付与が開始されたことに加え、9月下旬には飲食キャンペーン「Go To Eat」がスタートしたことで新型コロナウイルス感染症の影響により低迷していた主要マーケットである外食産業をとりまく環境は底を打ち、一旦回復へと向かいましたが、再び感染者数が急増したことを受け、11月24日に「Go To Eat」が中断、翌月28日には「Go To トラベル」が停止したことや、年末における外食産業へ

の営業自粛や時短要請などにより再び外出需要が冷え込んだため、期待されたマーケットの回復は一時的でありました。

そのような状況下で、通信販売事業においては販売が安定的に推移し、年末商戦では昨年並みの実績を維持することができました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,023百万円（前年同四半期比24.9%減）、セグメント利益（営業利益）は54百万円（前年同四半期比28.7%減）となりました。

1月には緊急事態宣言が再発令されるなど本格的な外出需要の回復に至るまでには時間を要する状況にあります。今後におきましては、コロナ禍の出口を見据え、販路をしっかりとグリップすることで業績の回復に専念してまいります。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業では、安定的な受注先を擁していることから売上高においては新型コロナウイルス感染症の影響を直接受けておりませんが、間接的には緊急事態宣言解除後における需要変動等による食材仕入価格の高騰や、長期化する新型コロナウイルス感染症対策に伴うマスクやその他衛生用品等に係る費用の継続的な発生により費用が増加しました。

また、現場職員の定着化を図り、慢性的な人員不足を解消することを目的として新規採用を積極的に行い、職員が働きやすい環境の整備を進めた結果、人件費が増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,713百万円（前年同四半期比1.2%増）、セグメント利益（営業利益）は235百万円（前年同四半期比30.6%減）となりました。また、受託施設件数については、当第3四半期連結会計期間末現在、255施設（前年同四半期末は262施設）となりました。

今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて管理体制を徹底し、職員の安全及びお客様に安心して頂けるサービスの提供を最優先に行ってまいります。

③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所、及び有料老人ホーム運営事業を営んでおり、業界全体としては高まる需要に対して、恒常的な人手不足と、それに伴う人件費の上昇など、足元・先行きとも厳しい状況にあります。

そのような状況の中、教育制度や資格補助制度の拡充をはじめ、キャリアパスの明確化、事務作業の軽減などの改善施策を地道に行ってきたことにより、職員の定着率向上と新規採用を実現し、安定的にサービスを提供できる機会が確保できました。

その結果、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所、及び有料老人ホームのご利用者様数を順調に伸ばしてまいりましたが、当第3四半期連結累計期間においては、長期化する新型コロナウイルス感染症対策として引き続き新規でのご利用者様の受け入れを抑えた影響により、売上高は微増に留まりました。また、新型コロナウイルス感染症対策のための各種消耗品費用の発生や、職員の増加に伴う賃金の増加により経費負担は高止まりました。

これにより当第3四半期連結会計期間末現在、訪問介護事業所37事業所（前年同四半期末は36事業所）、居宅介護支援事業所12事業所（前年同四半期末は12事業所）となり、支援させていただいておりますご利用者様は2,048名（前年同四半期末は2,105名）となりました。また、有料老人ホーム6施設（前年同四半期末は6施設）のご入居者様は330名（前年同四半期末は342名）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,100百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益（営業利益）は533百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

今後も引き続きご利用者様の獲得に努めていくとともに、充実した雇用環境を創ることで、より良い人材の確保と定着率向上に努め、介護サービスの更なる質の向上を図ってまいります。

④ ASMO CATERING (HK) 事業

ASMO CATERING (HK) 事業におきましては、香港において9月以降減少傾向にあった新型コロナウイルス感染者数が11月に再び増加したため、12月10日より香港政府による厳しい規制が行われ、レストラン事業では夜6時以降の営業が禁止となりました。

当社を含めコロナ禍で大きな打撃を受けている飲食業に対して、香港政府からは雇用助成金、営業支援金が支給

されていますが、度重なる規制の強化を受け外食マーケットは非常に厳しい状況にあります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,033百万円（前年同四半期比27.3%減）、セグメント損失（営業損失）は34百万円（前年同四半期はセグメント損失76百万円）となりました。

今後におきましては、香港においても近い将来接種が開始されるワクチンの効果が規制緩和のきっかけとなることが期待されており、来るべきアフターコロナでの香港における新しい生活様式を見据え、今後の事業展開に備えてまいります。

⑤ その他の事業

その他セグメントに含めておりますサーバントラスト信託株式会社は管理型信託事業を展開しており、入居一時金保全信託、法人・個人向けの金銭管理信託、及び不動産管理信託を主力とした信託商品の販売を行っております。同じくその他セグメントに含めておりますアスモ少額短期保険株式会社は、少額短期保険事業を展開しており、企業の従業員への福利厚生制度としての生命保険商品、及び高齢者施設入居者のケガや家財の補償、及び介護サポートを目的とした損害保険商品等を販売しております。

サーバントラスト信託株式会社においては、新型コロナウイルス感染症による対面営業の機会喪失に起因した新規受注が伸び悩んだことにより減収減益となりました。高齢者施設入居者向けの損害保険商品を取り扱うアスモ少額短期保険株式会社では、コロナ禍に起因し高齢者施設への新規入居者数は微減となりましたが、保険の引き受けに大きな影響を受けることなく推移いたしました。

以上の結果、その他セグメントにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は、357百万円（前年同四半期比7.5%減）、セグメント利益（営業利益）は、16百万円（前年同四半期比69.5%減）となりました。

超高齢化社会を迎え、高齢者の財産管理や資産承継、あるいは高齢者が安心して暮らせるためのニーズが高まりつつある日本社会において『信託制度』『少額短期保険』の需要が今後ますます高まっていくものと予想されるため、今後もシルバーマーケットの拡大とともに成長が期待できるものと考えております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は9,291百万円となり、前連結会計年度末に比べ413百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が346百万円、受取手形及び売掛金が184百万円、商品が46百万円、前払費用が48百万円増加し、有形固定資産が53百万円、保証金が24百万円、繰延税金資産が79百万円減少し、資産のマイナス勘定である貸倒引当金が48百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,902百万円となり、前連結会計年度末に比べ162百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が232百万円、未払金が186百万円、短期借入金が9百万円増加し、未払法人税等が269百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ251百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が305百万円増加し、退職給付に係る調整累計額が42百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は68.2%（前連結会計年度末は68.5%）となりました。

前連結会計年度末に比べ債権や在庫は増加しておりますが、年末年始を繁忙期とする事業の債権など季節的な変動が主であり、また利益剰余金の増加が現金及び預金の増加に反映していることから、順調な増減であると認識しております。

資本の財源につきましては、当社グループの運転資金・設備投資について一部連結子会社で一時的な借入を行うことがあります。基本的には自己資金により充当しております。当第3四半期連結会計期間末の有利子負債残高は、短期借入金9百万円とリース債務231百万円であり、前連結会計年度末と比較して1百万円増加しております。

現金及び預金の当第3四半期連結会計期間末残高は5,092百万円であり、資金の流動性は十分に確保できております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の連結業績予想は、2020年11月5日に公表いたしました予想に変更はありませんが、日本経済及び世界経済に多大な影響を与えている新型コロナウイルス感染症が予想を上回る深刻な状況で長期間にわたり収束に向かわない場合においては、経済状況や事業環境の変化等様々な要因により業績が予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,745,546	5,092,537
受取手形及び売掛金	2,022,654	2,207,344
商品	287,474	334,118
貯蔵品	11,941	12,705
その他	381,379	427,002
貸倒引当金	△96,812	△129,835
流動資産合計	7,352,182	7,943,872
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	364,946	311,682
有形固定資産合計	364,946	311,682
無形固定資産		
その他	43,183	35,130
無形固定資産合計	43,183	35,130
投資その他の資産		
その他	1,442,352	1,341,414
貸倒引当金	△324,946	△340,473
投資その他の資産合計	1,117,406	1,000,941
固定資産合計	1,525,535	1,347,754
資産合計	8,877,718	9,291,626

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	488,375	721,082
短期借入金	—	9,990
未払法人税等	273,288	3,391
賞与引当金	247,592	154,284
その他	1,362,969	1,638,631
流動負債合計	2,372,226	2,527,380
固定負債		
退職給付に係る負債	181,735	195,850
その他	185,868	178,987
固定負債合計	367,604	374,837
負債合計	2,739,830	2,902,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	3,633,874	3,939,732
自己株式	△42,516	△42,516
株主資本合計	5,914,630	6,220,488
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	84	△63
為替換算調整勘定	111,755	103,821
退職給付に係る調整累計額	56,285	14,071
その他の包括利益累計額合計	168,125	117,830
非支配株主持分	55,132	51,088
純資産合計	6,137,888	6,389,407
負債純資産合計	8,877,718	9,291,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	15,049,699	14,232,836
売上原価	11,605,393	11,363,966
売上総利益	3,444,306	2,868,870
販売費及び一般管理費	2,479,260	2,207,076
営業利益	965,046	661,793
営業外収益		
受取利息	5,134	4,904
助成金収入	4,698	60,133
その他	11,470	8,296
営業外収益合計	21,303	73,334
営業外費用		
支払利息	1,364	3,493
貸倒引当金繰入額	4,891	15,464
為替差損	558	6,260
その他	—	119
営業外費用合計	6,814	25,337
経常利益	979,534	709,790
特別利益		
固定資産売却益	20	9
特別利益合計	20	9
特別損失		
固定資産売却損	—	93
固定資産除却損	2,585	17
投資有価証券評価損	7,270	—
特別損失合計	9,856	110
税金等調整前四半期純利益	969,698	709,688
法人税、住民税及び事業税	355,613	186,095
法人税等調整額	41,633	79,398
法人税等合計	397,246	265,493
四半期純利益	572,452	444,194
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,083	△1,870
親会社株主に帰属する四半期純利益	589,535	446,065

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	572,452	444,194
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△35	△147
為替換算調整勘定	1,297	△10,106
退職給付に係る調整額	△4,094	△42,213
その他の包括利益合計	△2,832	△52,468
四半期包括利益	569,619	391,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	586,467	395,769
非支配株主に係る四半期包括利益	△16,848	△4,043

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK) 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	3,564	2,694,965	5,645,800	4,897,550	1,420,844	14,662,725
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	47,913	184,098	—	—	232,011
計	3,564	2,742,879	5,829,899	4,897,550	1,420,844	14,894,737
セグメント利益又は損失(△)	△130,009	76,708	338,960	702,408	△76,238	911,829

(単位:千円)

	その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	386,974	15,049,699	—	15,049,699
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	232,011	△232,011	—
計	386,974	15,281,711	△232,011	15,049,699
セグメント利益又は損失(△)	53,317	965,146	△100	965,046

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	911,829
「その他」の区分の利益	53,317
セグメント間取引消去	△100
四半期連結損益計算書の営業利益	965,046

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	3,565	2,023,072	5,713,973	5,100,805	1,033,501	13,874,919
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26,234	186,286	—	—	212,520
計	3,565	2,049,307	5,900,259	5,100,805	1,033,501	14,087,440
セグメント利益又は損失(△)	△143,259	54,696	235,296	533,312	△34,596	645,449

(単位:千円)

	その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	357,916	14,232,836	—	14,232,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	212,520	△212,520	—
計	357,916	14,445,357	△212,520	14,232,836
セグメント利益又は損失(△)	16,246	661,695	97	661,793

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	645,449
「その他」の区分の利益	16,246
セグメント間取引消去	97
四半期連結損益計算書の営業利益	661,793